

テーマ：「食品メーカーにおける環境への配慮」

日時：2017年1月22日(日) 13:30～16:30

うち、14:00～14:20の講義を担当

場所：あべのハルカス 22階 ハルカス大学セミナールーム

参加者：大阪在住または在学の大学生 約20名

関西支部会員の川口徳子が、講義を行いました。

<講義内容>

1. ニッポンハムグループ概要・事業領域・環境方針
2. 日本の食料自給率・食品ロス
3. ニッポンハムグループが大切にしていること
4. 生産・飼育施設、処理・加工施設、商品での環境配慮



☆いただいた感想のご紹介☆

<講義はいかがでしたか？>

- ・リサイクル率の高い数値が出ていて、ほとんどがリサイクルに回されて再利用されていることで、とても良いと思いました。
- ・企業が環境へ配慮した活動が良く解った。クイズを交えるなどの工夫がなされていて、楽しく学べた。パッケージの話は個人的に面白かった。
- ・たくさんの食品ロスに対する工夫を知れたこと、企業の想いを知ることが出来たことがとても良かったです。
- ・企業の配慮が解るのは、信頼度アップに繋がって良いと思った。
- ・廃棄物のリサイクル率が94.9%であるということに、とても驚き、配慮出来ていると思った。

<企業のイメージはどのように変わりましたか？>

- ・大手企業というと大量生産をし、廃棄も大量にあると思っていたが、廃棄を出来るだけ減らし、リサイクルを出来るだけ行っていることが解った。
- ・一つの商品にどんな想いが込められて、どんな工夫がされているかを知れて、食品ロスを地球の環境問題として真剣に考えられていると感じた。
- ・環境についてどの企業も配慮しようと努力していることに、具体的な数字や活動を見て、企業のイメージが変わりました。

<一人の消費者として、どのような行動をすべきと感じたか？その他、感想など>

- ・まず、家族など身近の人、そして大学で学んだ消費知識を広めて行きたい。
- ・自分の日常の中にある、様々な無駄かつ環境に悪影響があるものを減らして行くことは出来ると思います。
- ・消費行動を行う時に、社会に対する貢献を行っている企業を選ぶ。個人の生活の中で、一つひとつの選択を良く考えることが出来ると思います。
- ・廃棄するものの量を減らす、また有効利用につながる消費活動を取るべきだと感じました。
- ・分別排出と共に無駄な購入をしない。食材を大切にする。美味しく仕上げて残り物をなくす。